

第21回伊東市子ども・子育て会議議事録

日 時 令和3年3月25日(木) 15:00～16:00
場 所 伊東市役所 5階中会議室
出席者 委員13名、参与2名、事務局5名

開会

1 報告事項

- (1) 幼稚園取組事項について(資料①)
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止期間の取り組みについて
 - 南幼稚園富士見分園の通園道路の歩道設置について
- (2) 保育園取組事項について(資料①)
 - 休日保育の取り組みについて
 - 市立保育園のリニューアル事業について
 - 富士見保育園の施設改修について

2 議題

- (1) 子ども・子育て支援事業計画について
 - ア 令和3年度幼稚園保育園入園状況について(資料②-1)
 - イ 令和2年度地域子ども・子育て支援事業の実施状況について(資料②-2)

会長 子ども・子育て支援事業について、新型コロナウイルスによりストップすることが多かったが、それに伴い何か気になること、苦労等があったか。

委員 新型コロナウイルス感染症等により、生活環境が今までとは変化したことにより、なれない生活が続き、不登校の子供が例年より増加したように感じた。

- (2) 子ども・子育て関連施設の新設について(資料③)
 - (幼保連携型認定こども園、放課後児童クラブ)

委員 (幼保連携型認定こども園について) 2021年4月1日より、幼保連携型認定こども園となります。英語やICT化が進む中、教育を進めていければと考えています。落ち着いたころに見学に来ていただければと思います。

委員 (放課後児童クラブについて) 池地区の子供の減少が見られる中、小規模特認校に指定されることにより少しずつ児童数が増えていたが、70人でストップしていた。市内の小学校の統廃合が進められていく中、池地区の方々も池小学校も対象となるのではと思われていた。そんな中で、保護者から学童をやりたいとの声が上がった。学童を設置により、子育てがしやすい環境となり、地域の活性化につながれば良いと思っている。

委員 新設の放課後児童クラブの件とは異なりますが、東小・西小・旭小の統合が進められる中、学童を行う教室がなくなってしまうのではないかと話題が出ている。小学校の敷地内に設置するのが安心安全であるため、教育長に要望書を提出しているところ。

(3) 特定教育・保育施設の利用定員について (資料④)

会長 幼保連携型認定こども園 川奈愛育クラブの利用定員の新設について、異議が無いようでしたら県の認可申請等を含め進めさせていただきますがいかがでしょうか。

委員 (異議なし)

会長 異議が無いため進めさせていただきます。

(4) 市立幼稚園・保育園のあり方検討会中間報告について (資料⑤)

事務局 公立幼稚園の人数割れが起きている一方、保育園では待機児童が発生している。公立保育園の建物の築年数が古くなっており、耐震補強や修繕が行い切れていない。幼稚園、保育園の職員不足等の課題があるため庁内職員で話し合いを行っている。

委員 認定こども園についてよりも延長保育の実施について行ってほしい。また、園児保護者と行政で認識の差があるように感じる。もっと認定こども園について園児保護者に周知してほしい。

委員 幼稚園での給食の開始を要望として出している。給食により共働きの親の負担の軽減になるため、幼稚園に預けようとする親も増えるのではないかとと思う。

委員 過去に自分の子供が保育園に通っていたが、保育園や幼稚園には感謝している。園舎の雨漏りや老朽化、川や海の近くに建っていると安心感が薄れ、今は子供たちも新築の家に住んでいることが多く、自宅とのギャップが生まれると思われる。安心安全の面を含めきれいな園舎にしていきたい。

委員 認定こども園だと、保育園に通っていても仕事を辞めてしまったりすると退園になることがある。年齢にもよるが同じ敷地内の幼稚部に通うことができれば友達とお別れしなくてすむのが良いと思う。

委員 伊東市の財源が観光業による収入が多数を占めており、観光業等が厳しく、仕事がなくなっていく中、子どもを預ける所がないと家で見ることになり、ますます働けなくなるという悪循環になっていくように思われる。悪循環を解消するには保護者の意見を取り入れるのが一番であるように思われる。

委員 色々な今後の課題があったが、園を集結させていく方向が一番なのかもしれないと感じた。

この子ども・子育て会議に出ているから内容等理解ができるが、他からすると認定こども園がどういうもので、メリットがあるのか等が分からないように思える。1園のみの認定こども園だととても大変になると思われるので、ゴールを早めに見定めて課題を解決して行ってほしい。認定こども園化について広報していく必要があるのではと思う。

委員 認定こども園について、預かり保育の時間をもっと長くしてほしいとの意見があった。少しずつ対応できればと思っている。

会長 昨年の出生人数が242人。出生数が少なくなる中、より質の良い教育・保育が出来ればと思う。

(5) その他

(八幡野保育園にて新型コロナウイルス感染者が出たことについての経過と対策についての報告)

(本会議全体をとおしての質問)

会長 その他について、子ども子育て支援事業計画について等質問がありましたら、お願いします。

委員 認定こども園について、民間としては対象児童を増やし運営継続する(生き残る)ための一つとして行っている。

認定こども園になったからと言って、保育の内容等やることは変わらない。保育所は教育という面で強化され、幼稚園も保育園も併せて給食ができ、園内に給食施設を設置すれば、手作りの食事が提供できるためサービス向上につながる。親の就労に限らず保育と教育を受けられることがメリットと思う。

事務局 事務局として今後参考にしていけたらと思う。貴重なご意見ありがとうございます。

会長 本会議の内容を受けて、事業を進めていけたらと思う。

会長 各委員より全体を通してその他御意見等はございますか。

(各委員より統括)

委員 幼稚園や保育園の職員の子供たちに接する対応や表情がとても良い。職員が重労働で体を壊さないか心配。無理せず業務を行ってほしい。

委員 伊東市の保育が40年の間に大きく変わっていった。個別訪問や0歳児保育の方向付けや観光業等日曜祝日も勤務がある保護者のため休日保育の開始、小規模保育所の開所があったりしました。働く方が増えて、保育園のニーズも増えたように感じた。今後は、ソフト面・ハード面含めて、幼稚園と保育園のあり方を考えていければと思う。

会長 他に質疑はございませんか。
ないようですので、この議事を全て終了させていただきます。
ありがとうございました。

閉会 (令和3年度子ども・子育て会議については年2～3回実施する予定。)